

中國內蒙古自治區文物考古研究所
日本幼學會
中國內蒙古博物院

編著

和林格爾漢墓壁畫孝子傳圖摹寫圖輯錄

二〇一〇—二〇一一年度日本科學研究會資助項目

陳永志
黑田彰
傅寧

主編

文物出版社

中國內蒙古自治區文物考古研究所
日本幼學會
中國內蒙古博物院

編著

二〇一〇—二〇一二年度日本科學研究會資助項目

和林格爾漢墓壁畫孝子傳圖摹寫圖輯錄

陳永志
黑田彰
傅寧

主編

文物出版社

責任印製／張道奇
責任編輯／李 颺

圖書在版編目(CIP)數據

和林格爾漢墓壁畫孝子傳圖摹寫圖輯錄：漢、日／
陳永志，黑田 彰，傅寧主編；中國內蒙古自治區文物考古研究所，
日本幼學會，中國內蒙古博物院編著．—北京：文物出版社，2015.9
ISBN 978-7-5010-4397-2

I. ①和… II. ①陳… ②黑… ③傅… ④中… ⑤日… ⑥中…
III. ①漢墓—墓室壁畫—美術考古—和林格爾縣—漢、日 IV. ①K879.41

中國版本圖書館CIP數據核字(2015)第224093號

和林格爾漢墓壁畫孝子傳圖摹寫圖輯錄

中國內蒙古自治區文物考古研究所
日本幼學會
中國內蒙古博物院
編著

陳永志
黑田 彰
傅 寧
主編

文物出版社出版發行

北京市東直門內北小街二號樓

<http://www.wenwu.com>

E-mail: web@wenwu.com

北京榮寶燕泰印務有限公司製版印刷

新華書店經銷

二〇一五年九月第一版

二〇一五年九月第一次印刷

定價：四九八圓

787×1092 1/8 印張：24

ISBN 978-7-5010-4397-2

本書版權獨家所有，非經授權，不得複製翻印

前言

和林格爾漢代壁畫墓，是原狀保存完好並保留至今的非常重要的漢代壁畫墓。墓葬六個墓室牆壁佈滿了色彩鮮豔的壁畫，其中除有與墓主人相關的出行、幕府、莊園生活等一生經歷的內容以外，還有祥瑞、庖廚、農耕等豐富的題材。其中最為特殊而又詳細的內容是反映中國傳統文化思想的忠孝節義、聖賢列士等，較為具體的有孝子傳圖、孔子弟子圖、列女傳圖、列士圖等。我們在對這樣內容的壁畫進行詳細整理介紹的同時，又對墓中壁畫全部進行了收集之後，編撰了《和林格爾漢墓壁畫孝子傳圖輯錄》並於二〇〇九年出版發行。

在該書進行相關資料搜集並對原圖進行研究的過程中，主要參考了一九七八年六月出版的《和林格爾漢墓壁畫》中收錄的三十一幅壁畫摹寫圖。和林格爾漢墓壁畫在一九七一年秋被發現後，一九七二年至一九七三年間對該墓進行了考古調查及發掘，同時對墓葬中發現的壁畫進行了原尺寸臨摹，現存的五十七幅摹寫圖收藏於內蒙古博物院。這些摹寫圖將發掘出的當時的壁畫內容進行全面展示，具有極高的資料價值。在對墓葬壁畫進行輯錄刊載的過程中，由於種種原因一直未對壁畫摹寫圖進行對比研究。現在，在內蒙古博物院的大力支持下，對和林格爾漢墓壁畫與摹寫圖的對比研究，有了這樣的一個契機。把摹寫圖與原壁畫比較起來看，原壁畫在發掘當初保存的狀況非常不錯，出乎想象。從摹寫圖所反映的壁畫內容上可以看到，幾乎沒有遺漏的地方。在原壁畫缺失的地方，摹寫圖基本上如實地反映出來。總之，在對原壁畫進行全方位學術上深入研究的同時，

參考摹寫圖進行詳細的對比，其預知的效果是毫無疑問的。對原壁畫與摹寫圖進行全面的對比研究，以獲得更高層次的學術價值，這是編寫這本《和林格爾漢墓壁畫孝子傳圖摹寫圖輯錄》的意義所在。

本書為了對原壁畫進行準確的比較對照研究，以《和林格爾漢墓壁畫孝子傳圖輯錄》為基本參照。首先將孝子傳圖、孔子弟子圖、列女傳圖、列士圖等內容，從四幅摹寫圖中截取進行編排。其次將墓室的全部壁畫以《和林格爾漢墓壁畫孝子傳圖輯錄》中的圖版為對應，將五十七幅摹寫圖按臨摹先後順序重新排列，並進行組合編輯。希望與《和林格爾漢墓壁畫孝子傳圖輯錄》對比進行資料的科學利用與深入的研究。

本書是二〇一〇—二〇一二年度科學研究經費補助基金（B）支持專案成果，由中國和日本相應的學術團體共同完成。中國的研究主體為內蒙古自治區文物考古研究所，陳永志教授負責本專案研究的資料搜集、整理、編輯等具體工作，日本方面的研究主體為幼學會，佛教大學的黑田彰教授具體負責本專案的組織實施。在這裏，對於為本專案搜集摹寫圖資料、攝影的內蒙古博物院以及其他各位支持者一併表示衷心的感謝！

編者

二〇一四年二月二十五日

前言

和林格爾後漢壁畫墓は、当時の姿をよく今日に留める大変貴重な壁畫墓である。墓中の全六室の壁面全てを彩る壁畫には、墓主の出行、幕府、庄園生活といった墓主の一生の主要な經歷の他、祥瑞、庖廚、農耕など多彩な内容に富む。それらの中で最も抜きん出て詳細なのは、忠孝節義、聖賢烈士といった中国の傳統文化や思想を表象し、具現化した孝子傳圖、孔子弟子圖、列女傳圖、烈士圖である。われわれは、これらの原圖を整理し詳しく紹介するとともに、墓中の壁畫全てを漏らさず収録した『和林格爾漢墓壁畫孝子傳圖輯錄』を二〇〇九年に刊行した。

上掲書の編纂時、原圖の判讀の参考としたものの中に、一九七八年六月刊行の『和林格爾漢墓壁畫』に収録された三十一卷の摹寫圖がある。和林格爾後漢壁畫墓は一九七一年秋の發見後、一九七二年から一九七三年にかけて發掘調査が行われたが、同時に原寸大の摹寫圖が作成された。現存摹寫圖全五十七卷は内蒙古博物院に所藏される。それらはいずれも發掘當初の壁畫内容を示す、資料的價値の高いものである。上掲書の刊行に当たり、摹寫圖を同時収録したかったが、諸般の事情により叶わなかった。今般機会を改め、内蒙古博物院の全面的協力の下、摹寫圖全卷を紹介することとした。摹寫圖と原圖とを較べてみると、原圖の保存の良さに驚かされる。摹寫圖から新たに判明することは、殆どない。原圖に缺けている箇所は、大概摹寫圖においても缺けている。とは言え、謎の多い原圖を學術的に検討しようとする時、摹寫圖を比較對照することの意義は、計り知れず高い。兩者を比較の上、検討に入ることが最も望ましい。

本書は、原圖と比較對照出来るようにするため、『和林格爾漢墓

壁畫孝子傳圖輯錄』に準じて編集している。先ず孝子傳圖、孔子弟子圖、列女傳圖、烈士圖の各圖を、摹寫圖四卷から抜き出し配列した。次に墓室全体の壁畫を、『和林格爾漢墓壁畫孝子傳圖輯錄』の圖版と對應するように、摹寫圖五十七卷を時に抜き出し時に組み合わせたりしながら配列した。『和林格爾漢墓壁畫孝子傳圖輯錄』と本書とを併せて用いることを願う。

本書は二〇一〇—二〇一二年度科學研究費補助金基盤研究(B)による成果である。中國と日本で実施した共同研究の、中國側の研究主體者は内蒙古自治區文物考古研究所であり、陳永志教授がこの研究の具體的な任務と責任を負う。日本側の研究主體者は幼学の会であり、佛教大學黒田彰教授がその任務と責任を負う。ここに、貴重な摹寫圖の撮影、刊行を御快諾くださった内蒙古博物院をはじめ、この研究のために御支持と御助力を賜った関係各位に衷心より感謝を申し上げたい。

編者

二〇一四年二月二十五日

凡例

一、本書根據內蒙古博物院所藏，在一九七二年至一九七三年間對和林格爾漢墓進行考古調查及發掘時，對其壁畫所做的五十七幅臨摹圖，與《和林格爾漢墓壁畫孝子傳圖輯錄》（二〇〇九年出版發行，以下按《輯錄》稱謂）中的原壁畫圖版進行比較對照編輯而成。

（一）本書圖版的排列以《輯錄》圖版順序為基準。首先，《壹 孝子傳圖及其他》對應刊載了漢墓中室北壁、西壁、南壁的孝子傳圖、孔子弟子圖、列女傳圖、列士圖的摹寫圖。其次，《貳 其他壁畫》對應刊載了漢墓六個墓室壁畫的摹寫圖。最後，《叁 附錄·一、壁畫補遺》對應刊載了前室、前室北耳室壁畫的一部分圖版以及具體位置不清的《武士圖》的摹寫圖。

（二）孝子傳圖、孔子弟子圖、列士圖中的各個圖版，按照《輯錄》原圖版對應的情況，將摹寫圖單獨進行編輯。

（三）列女傳圖的各個圖版，在《輯錄》中有的圖版排列時有重複兩次的現象，在本書中僅出現一次，全部進行了概括。此外，《輯錄》中《壹 孝子傳圖及其他·三、列女傳圖》中的圖23—27，由於沒有對其進行摹寫，本書省略。

（四）對於六個墓室壁畫的各摹寫圖圖版，在編排上盡可能地與《輯錄》原圖版的位置、大小一致。這些圖版有的是從一幅摹寫圖中截取的，也有的是從數幅摹寫圖中截取之後組合而成。

（五）本書墓室入口的圖版《貳 其他壁畫·一、前室壁畫》圖1

《入口》，為《輯錄》中《貳 其他壁畫·一、前室壁畫》圖1《入口》的原圖版。

（六）摹寫圖原編號24《武士圖》，由於位置不清，在《叁 附錄·一、壁畫補遺》的最後刊載。

二、本書的圖版編號，與《輯錄》中的圖版編號相對應，使用同一圖版編號。

（一）與《輯錄》原圖版相對應，本書圖版在使用子母編號的情況下，按照『0^①』、『0^②』的格式編列（例如《輯錄》『壹 孝子傳圖及其他·三、列女傳圖』圖1『棄母姜嫄、契母簡狄』等，在本書中編作圖1-①『棄母姜嫄』、圖1-②『契母簡狄』）。

（二）《輯錄》『壹 孝子傳圖及其他·一、孝子傳圖』圖12『趙荀』，確定為『金日磾』圖中的一部分，與圖13『金日磾』合為一幅圖版，在本書中為圖12、13『金日磾』。

（三）《輯錄》『貳 其他壁畫·六、後室壁畫』圖79『建鼓、鼓吏』與圖80『建鼓、鼓吏』，拍攝的是相同的壁畫內容，所以，在本書中作圖79、80『建鼓、鼓吏』一幅圖版。

（四）《輯錄》『貳 其他壁畫·四、中室壁畫』圖57『使君從繁陽遷度關時（東壁左）』，不是壁畫墓東壁右的『使君從繁陽遷度關時』圖的內容延伸，根據北壁壁龕圖延續情況的考慮，本書將圖57圖版說明

改爲『橫字生徒（東壁左）』。

（五）與《輯錄》『叁 附錄·一、壁畫補遺』相對應的摹寫圖，有三幅圖版。其各自相對應內容，可參考本書『叁 附錄·二、摹寫圖一覽表』。

三、力求將漢墓壁畫所有摹寫圖在五十七幅摹寫圖中全部進行刊載，但是，遺憾的是還有以下部分內容殘缺。

（一）雲紋是裝飾在三個耳室頂部的紋樣，僅對前室北耳室北壁頂部左半部分（『貳 其他壁畫·三、前室北耳室壁畫』圖^{47-①}）、西壁頂部右側部分（『貳 其他壁畫·三、前室北耳室壁畫』圖^{47-②}）進行了摹寫。

（二）前室北耳室北壁右上部的確春圖（『貳 其他壁畫·三、前室北耳室壁畫』圖48）和頂部靠左部分（『貳 其他壁畫·三、前室北耳室壁畫』圖^{47-①}）進行了摹寫，靠左部分的穀倉和剩下的雲紋沒有涵蓋進去。

（三）中室南壁右半部分沒有進行摹寫，第一段列女傳圖『魯漆室女』（『壹 孝子傳圖及其他·三、列女傳圖』圖22）進行了摹寫，但右半部分沒有摹寫。第二段列士圖（『壹 孝子傳圖及其他·四、列士圖』圖8）進行了摹寫，但右側的列女傳圖（或列士圖）沒有摹寫。第三段『使君從繁陽遷度關時』，有『輦車』榜題的馬車至右側的馬車這部分進行了摹寫，但其右半部分則沒有進行摹寫（『貳 其他壁畫·三、前室北耳室壁畫』圖54）。

（四）後室四壁上部的壁畫有摹寫圖，而侍女圖中行列部分沒有進行摹寫。

凡例

一、本書は、内蒙古博物院に所蔵される一九七二年から一九七三年にかけて行われた發掘調査時の摹寫圖五十七卷を用いており、『和林格爾漢墓壁畫孝子傳圖輯錄』（二〇〇九年刊行、以下『輯錄』とする）の原圖版と比較對照出来るように編集したものである。

（一）圖版の配列は『輯錄』に準じる。まず「壹 孝子傳圖及其他」として中室北壁・西壁・南壁の孝子傳圖、孔子弟子圖、列女傳圖、列士圖の各圖版を載せ、次に「貳 其他壁畫」として全六室の壁畫の各圖版、最後に「叁 附錄・一、壁畫補遺」として前室・前室北耳室の壁畫の一部の各圖版と壁畫の位置が不明である武士圖を載せる。

（二）孝子傳圖、孔子弟子圖、列士圖の各圖版は、『輯錄』原圖版と對應するように、摹寫圖四卷から抽出している。

（三）列女傳圖の各圖版は、『輯錄』原圖版では、二、三話ごとの圖版となっている場合が多いが、本書では一話ごとの圖版にあらためた。また、『輯錄』「壹 孝子傳圖及其他・三、列女傳圖」圖23―27については、摹寫されていないため本書では省いた。

（四）全六室の壁畫の各圖版には、『輯錄』の各原圖版と同じ場所を同じ大きさで掲載出来るように、一巻の摹寫圖から抽出したり、複數巻の摹寫圖を組み合わせたものがある。

（五）墓室入口のみ、原圖版である『輯錄』「貳 其他壁畫・一、前室壁畫」圖1「入口」をそのまま掲載した。

（六）摹寫圖原編號24「武士圖」は、壁畫位置を特定出来なかったため、参、一壁畫補遺の最後（*）に掲載した。

二、本書の圖版番号は、『輯錄』に對應させるため、『輯錄』原圖版と同じ番号を用いている。

（一）『輯錄』原圖版に対し、本書圖版が複數の場合は、0-①、0-②のように枝番号を付けた（例『輯錄』「壹 孝子傳圖及其他・三、列女傳圖」圖1「棄母姜嫄」、「契母簡狄」ならば、本書では圖1-①「棄母姜嫄」圖1-②「契母簡狄」）。

（二）『輯錄』「壹 孝子傳圖及其他・一、孝子傳圖」圖12「趙荀」については、『金日磾』圖の一部であることが判明したため、圖13「金日磾」と合わせ、本書では一図（圖12、13「金日磾」）としている。

（三）『輯錄』「貳 其他壁畫・六、後室壁畫」圖79「建鼓、鼓吏」と圖79「建鼓、鼓吏」については、同じ壁畫を撮影し圖版としたものであるため、本書では一圖（圖79、80「建鼓、鼓吏」）とした。

（四）『輯錄』「貳 其他壁畫・四、中室壁畫」圖57「使君從繁陽遷度關時（東壁左）」は、東壁右の使君從繁陽遷度關時圖から続くものではなく、北壁覺舍に続くと考え、名称を圖57「横宇生徒（東壁左）」とあらためた。

(五)『輯録』『叁 附録・一、壁畫補遺』に對應する摹寫圖版は三圖のみである。それぞれの對應については、本書の參、附録、二摹寫圖版一覧表を参照されたい。

三、摹寫圖五十七卷は全てを寫し取することに努めたようであるが、残念ながら次の部分が缺けている。

(一) 雲紋は、耳室三室の頂上部を裝飾する文様であるが、前室北耳室北壁頂上部左(「貳 其他壁畫・三、前室北耳室壁畫」圖^{47-①})、西壁頂上部右(「貳 其他壁畫・三、前室北耳室壁畫」圖^{47-②})しか摹寫されていない。

(二) 前室北耳室北壁は、右上部の確春圖(「貳 其他壁畫・三、前室北耳室壁畫」圖48)と頂上部左(「貳 其他壁畫・三、前室北耳室壁畫」圖^{47-①})だけが摹寫され、左部の穀倉や残りの雲紋は摹寫されていない。

(三) 中室南壁は、右端が摹寫されていない。一段目は列女傳圖「魯漆室女」(「壹 孝子傳圖及其他・三、列女傳圖」圖22)までが摹寫され、それより右は摹寫されていない。二段目は列士圖(「壹 孝子傳圖及其他・四、列士圖」圖8)までが摹寫され、それより右の列女傳圖(あるいは列士圖か)は摹寫されていない。三段目の使君從繁陽遷渡關時は、「輦車」の榜題を有する馬車と、その右の馬車までが「摹寫され、それより右は摹寫されていない」(「貳 其他壁畫・四、中室壁畫」圖54)。

(四) 後室の四方の壁面上部に描かれた、侍女の行列は摹寫されていない。

前言	1
前言	3
凡例	5
凡例	7

壹 孝子傳圖及其他

一、孝子傳圖	3
二、孔子弟子圖	11
三、列女傳圖	19
四、列士圖	31

貳 其他壁畫

一、前室壁畫	39
二、前室南耳室壁畫	87
三、前室北耳室壁畫	95
四、中室壁畫	105
五、中室南耳室壁畫	133
六、後室壁畫	143

叁 附錄

一、壁畫補遺	157
二、摹寫圖一覽表	163
三、摹寫圖原編號一覽表及摹寫圖全縮圖	169

壹 孝子傳圖及其他

一、孝子傳圖

1 舜	4
2 閔子騫	4
3 曾參	5
4 董永	5
5 老萊子	6
6 丁蘭	6
7 刑渠、孝烏	7
8 孝烏	7
9 伯瑜	8
10 魏陽	9
11 原谷	9
12、13 金日磾	10
14 三老、仁姑等	10

二、孔子弟子圖

1 老子、項橐、孔子	12
2 顏淵、子張、子貢	12
3 子路、子游	13
4 子夏、閔子騫	13
5 曾參、冉有	14
6 仲弓、曾點	14
7 公孫龍、冉伯牛	15
8 宰我、〔孔子弟子〕	15
9 〔孔子弟子〕	16

10 〔孔子弟子〕	16
11 〔孔子弟子〕	17
12 〔孔子弟子〕	17
13 〔孔子弟子〕	18

三、列女傳圖

1 棄母姜嫄	20
② 契母簡狄	20
2 ① 啟母塗山	20
② 湯妃有娀	20
3 周室三母（大姜、大任、大姒）	21
4 ① 衛姑定姜	21
② 齊女傅母	21
5 ① 魯季敬姜	22
② 楚子發母	22
6 ① 鄒孟軻母	22
② 魯之母師	22
7 ① 齊田稷母	23
② 魏芒慈母	23
8 ① 魯師春姜	23
② 周室姜后	23

9	齊桓衛姬	24
②	晉文齊姜	24
10	秦穆公姬	24
11	魯秋潔婦（魯秋胡子、秋胡子妻）	25
12	周主忠妾	25
①	〔列女〕	25
②	〔列女〕	25
13	〔列女〕	26
①	〔列女〕	26
②	許穆夫人	26
14	曹釐氏妻	26
①	孫叔敖母	26
15	魯臧孫母	27
①	晉羊叔姬	27
②	晉范氏母	27
③	楚昭貞姜	27
16	宋恭伯姬	28
17	梁節姑姊	28
18	魯孝義保	29
①	楚昭越姬	29
②	蓋將之妻	29
③	代趙夫人	29
20	魯義姑姊	30
21	魯漆室女	30
22	晏子、田開疆	32
四、列士圖		31

2	古冶子	32
3	公孫接	33
4	成慶	33
5	孟賁	34
6	王慶忌、要離	35
7	伍子胥	35
8	〔列士〕	36
其他壁畫		37
一、前室壁畫		39
1	入口	40
2	幕府門（南壁）	41
3	幕府門（北壁）	42
4	幕府大廊（右）	43
5	幕府大廊（左）	44
6	拜謁、百戲	45
7	拜謁	46
8	百戲	48
9	護烏桓校尉幕府穀倉	50
10	護烏桓校尉幕府穀倉（上）	51
11	護烏桓校尉幕府穀倉（下）	52
12	繁陽縣倉	53
13	上郡屬國都尉、西河長史吏兵馬皆食大倉	54
14	上郡屬國都尉、西河長史吏兵馬皆食大倉（下）	55
15	幕府東門諸曹（右上）	56
①	幕府東門（右下）	56
②	幕府東門（左下）	57
①	幕府東門諸曹（左上）	57

17	幕府東門（右下）	58
18	幕府東門（左下）	60
19	舉孝廉時、郎、西河長史出行	63
20	舉孝廉時、郎、西河長史出行（右）	64
21	舉孝廉時、郎、西河長史出行（左）	66
22	行上郡屬國都尉時出行	69
23	行上郡屬國都尉時出行（右）	70
24	行上郡屬國都尉時出行（左）	72
25	繁陽令出行	74
26	使持節護烏桓校尉出行	77
27	使持節護烏桓校尉出行（右）	78
28	使持節護烏桓校尉出行（左）	80
29	鳳凰、白象	82
①	朱雀	83
②	舉孝廉時出行（局部）	84
30	西河長史出行（局部）	84
31	行上郡屬國都尉時出行（局部）	85
32	繁陽令出行（局部）	85
33	使持節護烏桓校尉出行（局部）	86
34	使持節護烏桓校尉出行（局部）	86
35	使持節護烏桓校尉出行（局部）	86
二、前室南耳室壁畫		87
36	庖廚	88
37	觀漁	89
38	牧馬	90
39	牧牛	92
40	牧馬（右）	94
41	牧馬（左）	94

三、前室北耳室壁畫

95

42 供官掾史

96

43 庖廚

97

44 牧羊(右)

98

45 牧羊(左)

99

46 牧羊(左下)

100

47

① 雲紋

102

② 雲紋

102

48 碓舂

103

49 農耕(右)

104

50 農耕(左)

104

四、中室壁畫

105

51

① 行上郡屬國都尉時所治土軍城府舍

106

② 西河長史所治離石城府舍

106

52 繁陽縣城

107

53 繁陽縣令被璽□時

108

54 使君從繁陽遷度關時(南壁右)

110

55 使君從繁陽遷度關時(駟車從騎)

111

歷史故事(南壁)

111

56 使君從繁陽遷度關時(東壁右)

113

57 橫宇生徒(東壁左)

115

58 寧城前衛

116

59 寧城幕府

118

60

① 中室北壁右上部(歷史故事、贊舍)

120

② 中室北壁右下部(樂舞百戲)

121

61

① 中室北壁左上部(歷史故事)

122

② 中室北壁中央(歷史故事、燕居)

123

③ 中室北壁左下部(祥瑞、庖廚)

123

62

① 中室西壁右上部(歷史故事)

124

② 中室西壁中央(歷史故事、燕居)

124

63 中室西壁左上部(七女為父報仇圖)

127

64 樂舞百戲(中室北壁右下部)

128

65 祥瑞、庖廚(中室北壁左下部)

130

66 祥瑞、宴飲(中室西壁下部)

131

67 侍者(北壁右)

132

68 女墓主(北壁中央)

132

69 侍者(北壁左)

132

70 侍者(西壁右)

132

71 男墓主(西壁中央)

132

72 侍者(西壁左)

132

五、中室南耳室壁畫

133

73 五奴僕

134

74 鴉雀果樹

136

75 庖廚(西壁)

138

76 庖廚(東壁)

140

77 禽舍

142

六、後室壁畫

143

78 建鼓、鼓吏(北壁)

144

79、80 建鼓、鼓吏(南壁)

145

81 莊園

146

82

① 武成城

148

② 武成城(南門)

149

83 臥帳

150

84 四神

152

85 桂樹雙闕

154

叁 附 錄

155

一、壁畫補遺

157

補4 前室東壁上(左)

158

補6 前室北壁頂上部(雨師、麒麟)

159

補22

160

① 前室北耳室西壁右部

160

② 前室北耳室西壁左部

160

* 武士圖(位置不明)

161

二、摹寫圖一覽表

163

1 孝子傳圖、孔子弟子圖、列女傳圖、烈士圖一覽表

164

2 和林格爾漢墓壁畫一覽表

166

三、摹寫圖原編號一覽表及摹寫圖全縮圖

169

1 摹寫圖原編號一覽表

170

2 摹寫圖全縮圖

171

壹

孝子傳圖及其他

一、孝子傳圖

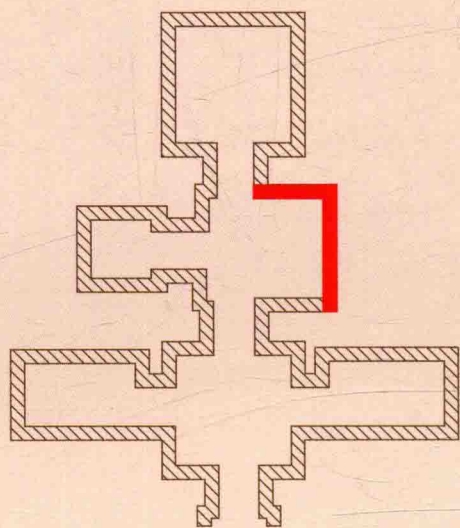
二、孔子弟子圖

三、列女傳圖

四、列士圖

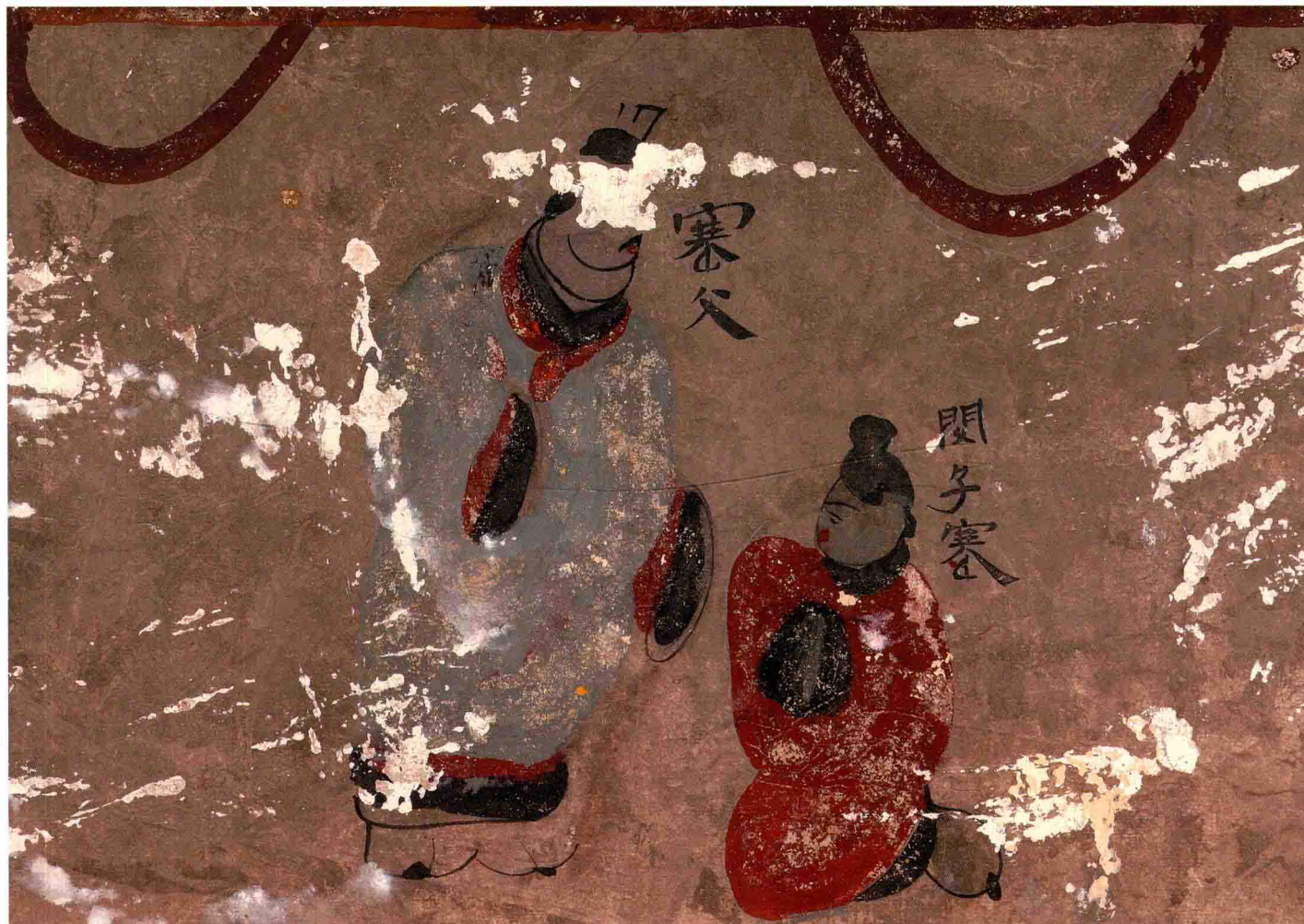


一、孝子傳圖





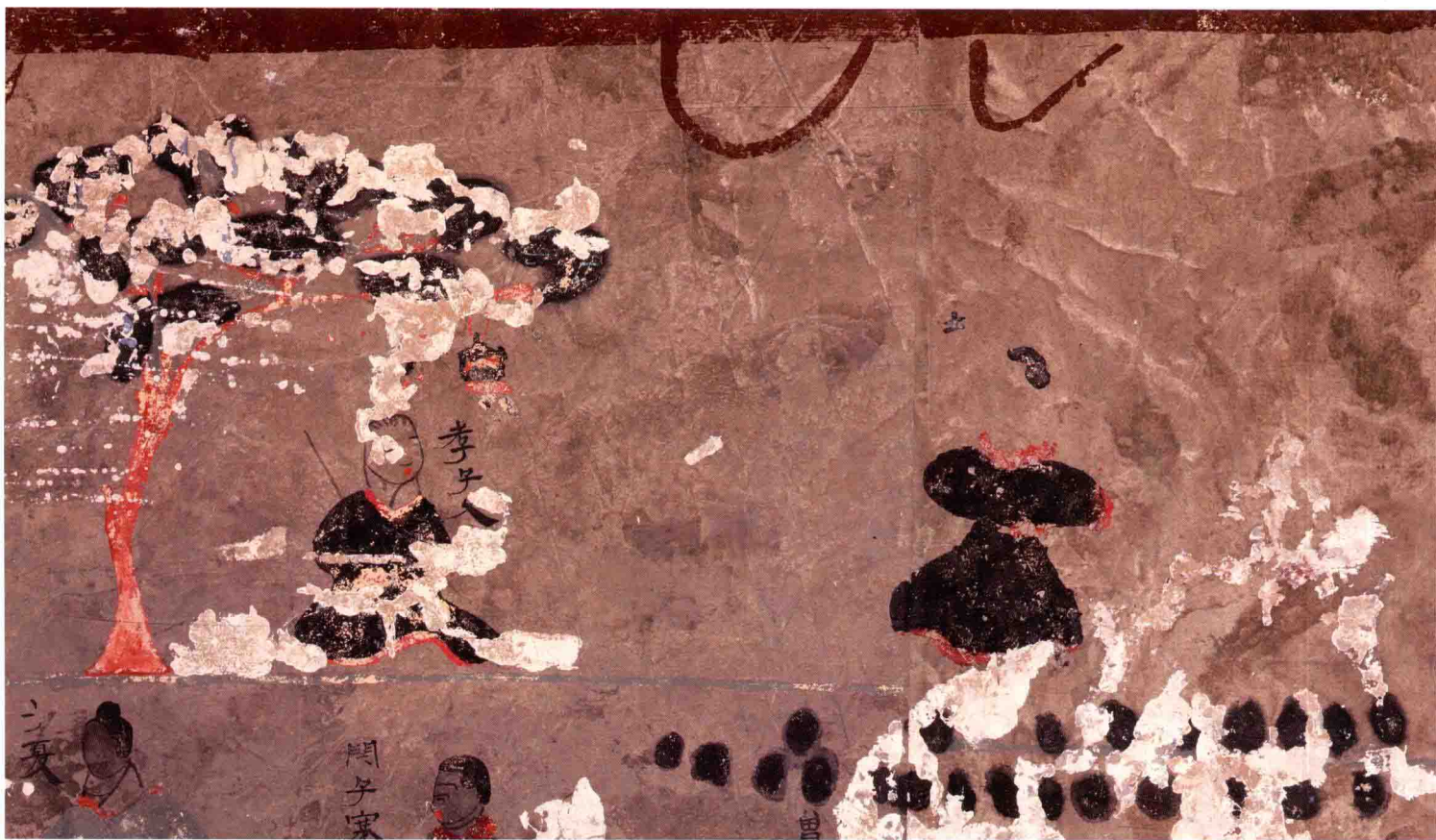
1 舜



2 閔子寒



3 曾參



4 董永